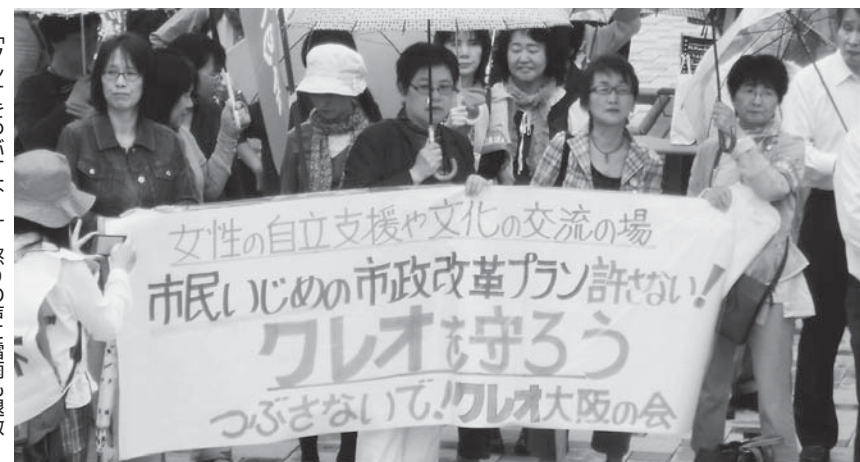


くらしも大阪市も破壊する 市政改革プラン (素案)

昨年11月の市長選挙で、橋下氏や「維新の会」は「敬老バスはなくしません」と公約しました。しかし、5月11日に発表された「大阪市政改革プラン(素案)」では住民サービスに関する施策・事業を今後3年間で削減・廃止するとしています。その内容は、子どもや若者からお年寄りまであらゆる世代にとって大きな打撃となるものです。



「クレオをつぶすな!」怒りの声に雷雨も退散

あらゆる世代のサービスを切り捨てる「市政改革プラン」(一部)

事業名	削減額	実施年度
敬老バス事業の改悪(5案)	14億円~50億円	2013年度
上下水道料金福祉措置の廃止	39億6600万円	2013年度
新婚世帯向け家賃補助募集停止(18年度終了)	21億7100万円	2012年度
国民健康保険料の値上げ	10億6700万円	2013年度
保育料の軽減措置の改悪	1億5000万円	2013年度
老人憩いの家運営費助成削減	5500万円	2013年度
コミュニティ系バス(赤バス)補助削減	10億7300万円	2013年度
大阪府フィルハーモニー協会、文楽協会補助金削減	4000万円	2012年度
大阪市音楽団の廃止	5200万円	2013年度
男女共同参画センター(クレオ)廃止	4億5600万円	2014年度
市民交流センター廃止	10億3300万円	2014年度
屋内プール統廃合(24→9カ所)	12億2300万円	2014年度
スポーツセンター統廃合(24→9カ所)	4億7400万円	2014年度

宣伝ビラに 多くの市民の声が

「明るい会」と「よくする会」の呼びかけで、大阪自治労連は5月27日、市内一斉に市政改革プランにつ



女性のよりどころ 「クレオ」を守ろう

このビラに対し、市民からは電話やメールが相次ぎました。意見は、賛否両論ありますが、その中で目立ったのが、「ビラを読んで、橋下市長がやるうとしていることがよく分かった。パブリックコメントを出したいが、どうしたらいいのか?」などの問い合わせです。今こそ声をあげないといけない、という市民の思いの現れです。

中智子市会議員がかけつけ激励。「素案撤回にむけて全力を尽くしましょう」とのメッセージがOSAKAみらいと自民党3人の女性議員から寄せられたほか、精神科医の香山リカさん、ジャーナリストの竹信三

恵子さん、詩人の上田假奈代さんらのメッセージも紹介されました。集会の途中で雨もあがり、「クレオは元気の発信センター みんなで守ろう、クレオを守ろう」と元気に市役所を包囲するパレードになりました。

女共同参画センター(クレオ大阪)5館を2014年度で全廃するとしています。パブリックコメント締め切り日の5月29日、雨と雷のなか、大阪市役所前で「つぶさないでクレオ」

「主人を亡くしてから心の病と闘っていた時、クレオでの相談をきっかけに元気になれた」という女性の手記が紹介されました。大阪市議会からは日本共産党の山

6・25集会

橋下市長は、あらゆる層に「競争」を徹底的に押しつけています。共通テストの結果で子どもと学校を序列化して統廃合をねらい、教職員や公務員には人事評価によって処分や免職への道を開こうとしています。また、「成果のあるところには予算配分する」と市民や地域団体にも競争を持ち込もうとしています。

橋下市長に異議あり!!

手をつなごう、市民と公務員 ともに働く仲間として

橋下市長に、異議あり!! 「公務員たたく」と「市民むけサービス削減」を許さない

6・25集会

2012年 6月25日(月) 18:30~ 開場 19:00

大阪市立中央公会堂 (中之島公会堂) 1階・大ホール

講師 宮里 邦夫さん (弁護士・日本労働弁護団会長) 「公務員の権利と、労働組合の権利を考える」

司会 小山 万里子さん (ラジオパーソナリティ)

音楽家有志の演奏 (四重奏) ・労働組合からの発言

市民からの発言

主催: 連合大阪法曹団・大阪労働者弁護団・民主法律協会・大阪社会文化法律センター・自由法曹団大阪支部・青年法律家協会大阪支部・大阪民主法曹協会・日本労働弁護団大阪支部

日時 6月25日(月) 18:30~

会場 大阪市立中央公会堂 (中之島公会堂) 1階・大ホール

講演 「公務員の権利と、労働組合の権利を考える 大阪でいま起きていることの意味」

宮里 邦夫さん (弁護士・日本労働弁護団会長)

・音楽家有志の演奏(四重奏) ・労働組合からの発言—公務員と職場をめぐる実情など—

・市民からの発言

主催: 連合大阪法曹団・大阪労働者弁護団・民主法律協会・大阪社会文化法律センター・自由法曹団大阪支部・青年法律家協会大阪支部・大阪民主法曹協会・日本労働弁護団大阪支部

羽曳野市長選挙 (7月1日投票)

宇山 てつおさんを推せん

7月1日投票で行われる羽曳野市長選挙で、大阪自治労連執行委員会は、羽曳野市職労も参加する「公正・民主的な羽曳野市政をつくる会」が擁立する元羽曳野市保健福祉部長の宇山てつおさんの推薦を決定しました。市民本位の市政実現めざして支援します。



今月のキーワード トリクルダウン

「徐々に流れ落ちる」という意味で、「政府のお金を公共事業や福祉などで国民(特に低所得層)に直接配分するのではなく、大企業や富裕層の経済活動を活性化させることによって、富が低所得層に向かって徐々に流れ落ち、国民全体の利益となる」とする発想を示したものです。所得税や法人税の最高税率引き下げなど、主に大企業や富裕層が自己の既得権益の擁護・増大を求める理論武装として持ち出されています。

今月のキーワード パブリックコメント

公的な機関が規則あるいは命令などの類のものを制定しようとするときに、広く公に意見・情報・改善案などを求める手続をいいます。公的な機関が規則などを定める前に、その影響が及ぶ対象者などの意見を事前に聴取し、その結果を反映させることによって、よりよい行政をめざすものです。しかし、十分な情報が提供されていない、件数が少なすぎる、公表が一部しかされていないなどの問題があります。通称「パブコメ」とも。